

2007 年度

科目名 <p style="text-align: center;">社会調査方法論</p>	対象学科・学年 教育教福 2 回生	担当者 <p style="text-align: center;">井上 徹</p>
授業テーマ 社会現象を科学的に探求する		
授業の概要と目標 前期は、様々な社会調査について紹介し、そのなかの質問紙調査に焦点を当て、テーマの設定、調査項目の正しい作り方を解説する。後期は、社会調査で得られたデータを如何に分析し、解釈するかを、具体的な事例と実習を交えて講義する。社会調査を行なう上に必要な知識と技術を修得することを目標とする。		
評価方法 出席（30%）＋レポート（30%）＋筆記テスト（60%）		
テキスト 図解アンケート調査と統計解析がわかる本	著者 酒井 隆	出版社 ミネルヴァ書房
参考書	著者	出版社
授業スケジュール・内容 [前期] 1. 社会調査とは何か（1） 社会調査としての3つの条件 2. 社会調査とは何か（2） いろいろな社会調査 3. 社会調査の設計（1） 調査プロセスと調査企画 4. 社会調査の設計（2） 調査問題、理論仮説、作業仮説 5. 調査票の作成（1） 調査項目の作成 6. 調査票の作成（2） ワーディング 7. サンプリング（1） 母集団と標本 8. サンプリング（2） ランダムサンプリング 9. サンプリング（3） 標本数の決定 10. 様々な調査方法（1） 面接調査の実際 11. 様々な調査方法（2） 郵送調査法、電話調査法など 12. データの整理（1） 調査票の点検、コーディング 13. データの整理（2） 結果の分析 14. 報告書の作成（1） 報告書概観 15. 報告書の作成（2） 調査全体の考察 [後期] 16. データ分析の考え方 計数値、計量値 17. データの整理と集計（1） 単純集計 18. データの整理と集計（2） グループ別集計 19. 推定と検定（1） 母集団の推定 20. 推定と検定（2） 統計的検定の意味 21. クロス表の分析（1） 2つの群の比較 22. クロス表の分析（2） 比率の差の検定 23. クロス表の分析（3） エラボレーション 24. 関連の強さ（1） 相関関係 25. 関連の強さ（2） 関連性係数 26. 因果関係を考える（1） 因果分析 27. 因果関係を考える（2） パス解析 28. 質的データの分析（1） 質的データの整理方法 29. 質的データの分析（2） ドキュメント分析 30. まとめ 分析結果の考察について		